



山脇学園 中学2年
学年通信 第3号
2025年5月31日発行

5月の校外学習が無事終わりました。コロナ禍以降は高尾山に登っていたのですが、比較的登りやすい山ゆえ小學生に囲まれながらお弁当を食べることになってしまっていたため、今年度からは従来登っていた足和田山に戻したという次第です。直前まで天気が定まらず御家庭でもヤキモキされたのではないかと思います、帰りのバスに乗った直後に霧雨が降り始め、結果として天気にぎりぎり恵まれた1日となりました。

高尾山に比べて急坂が多く、きつい思いをした生徒も多かったように思います。過去に様々な校外学習に参加した際、先頭をきって歩ける生徒はともかく、遅れがちな生徒の口から出る言葉は「もうやだ」「きつい」「つらい」「帰りたい」のオンパレード。今回は出発前の集会で「グチ禁止!」を掲げました。上記の言葉を言いたくなくなったら無理矢理にでも「チャレンジ!」「経験!」「協働!」と言い合って登ろうと。その後現地で登っている生徒を最後尾から見上げると、「チャレンジ!」「協働!」と大声で叫びあいながら登っているのが見え、笑いながらこちらまで元気にしてもらいました。本当に「面白がって取り組む」のが上手な人たちですね。学年外の引率教員からも、こんなに気持ちの良い登山は滅多にないとの声が挙がり、充実感に満たされた1日でした。さて、次は夏の白馬です。

無理をしないでね。私たち大人はしばしば子供たちにそういった声掛けをします。もちろん心身に不調が見られる時など、無理をさせてはいけな場面はあります。ただ、時には無理を承知で取り組むこともあって良いのではないのでしょうか。思えば私たち大人も、ここまで来るのに（そして今も）時に無理をして頑張っているではありませんか。「無理をする」というより素直に「頑張る」と表現した方が相應しいかもしれませんね。「頑張る」は時代遅れ? いやいや、頑張った先に得られる充実感をお嬢様方はよくご存じのはずです。

無理をさせないように、苦しい思いをさせないように・・・子供が大変そうにしているのを目になさるのは保護者の方にとって辛いことでしょう。子を持つ親はみな経験することです。ただ、友人関係で辛そうにしているとき、真夜中を超えても勉強しているとき（これは多くが課題をためてしまった末路ですが）、・・・じっと見守るのが正解のときもあるものです。いつも手を差し伸べられてしまうと、その手を待つようになってしまいますので。今日ちょっと休んじゃおうかな、というときに「そういう時こそ行きなさい」と声がけをしてくださった保護者の方がいらっしゃいます。そうやって少しずつ枠が広がっていくのでしょうか。私も教員もどこまでが生徒にとって許容範囲なのか、慎重に見守っています。その上で、いかにして壁を超えるか、ポジティブな言葉の力、生徒の力を信じて、寄り添って参りたいと存じます。

さて、昨日30日には4月に行われた学力推移調査の結果が返却され、（定期考査に向けてのみならず）長期的に継続する真の学力をいかに身につけていくか、3教科から学習ガイダンスを行いました。大部分の生徒が、連日の勉強疲れにもかかわらず、大変熱心に耳を傾けていました。どんな内容だったか、よろしければ御家庭でも話題になさってみてください。

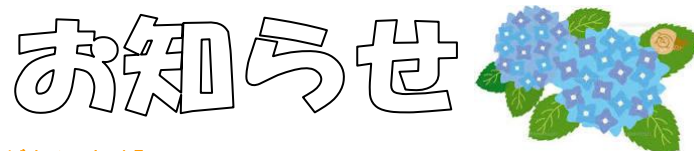
米国スタンフォード大学・心理学教授のCarol S. Dweck博士が提唱した「成長マインドセット」を御存じでしょうか。これは「努力が自分の能力向上に結び付くと信じること」です。日本では自己効力感とも言われます。成長マインドセットを持つ人は、仮にうまくいかないことがあっても粘り強く取り組む傾向が強いことがわかっています。マインドセットを変えるためには良い「結果」ではなく良い「取り組み」「努力」を褒め励ますことが有効です。これは教員として非常に臍に落ちる内容で、確かに結果だけを褒めると【如何に楽に結果を手にするか】に力を注ぐようになる気がします。

今までも繰り返しお伝えして参りましたが、お嬢様の取り組み>全国偏差値>校内順位 です。目標を掲げる際には「次のテストで何位以内に入る!」より「次のテストまで毎日単語を10個ずつ覚える!」といった類の方が効果が出るということです。成果を目標に掲げて「ではそのために何をするか」がなければなかなか難しい。行動を目標に掲げれば（その行動が適切でありさえすれば）時間はかかるかもしれませんが成果は自動的に

ついてきます。そのために、どんなマインドでどんなことをすべきかということについて今回のガイダンスではお話ししました。

ぜひ御家庭でも、お嬢様の頑張りをお認め頂き、お声がけくださいますか。くれぐれも校内順位が上がった・下がったのみで終わることのありませんように。一方、たとえ結果が好ましくても取り組み量が携帯使用時間に負けているようでしたら「よくできたね」「無理しないでね」という訳にはいきませんよね。

保護者の皆さまのポジティブな言葉には、本当に大きな力があります。「大丈夫?」ではなく「きっと大丈夫!」。「チャレンジ!」と言い合い笑いながら山を登っていくマインドを今後も育て参りましょう。



【参観授業があります】

6月23日（月）～25日（水）に授業参観があります。お嬢様の日頃の学校生活の様子をぜひご覧いただきたいと思います。当日は保護者証を忘れずにご持参ください。

【保護者会があります】

6月28日（土）保護者会を行います。ぜひご出席くださいますよう、お願いいたします。

12:30～13:30 中学3年チャレンジクラスについて

13:30～14:30 学年会
夏季学校について
学習状況について



【私学テストの日程について】

国語：6月13日（金）放課後
英語：6月18日（水）6限
数学：6月20日（金）放課後
定期考査に向けて良い準備ができるよう、まずは私学テストにしっかり取り組んでいきましょう。
なお、放課後学習は、
6月27（金）、30日（月）、7月1日（火）、3日（木）を予定しております。

【夏季学校クラス別日程について】

7月の夏季学校は、4月の保護者会でもお伝えしました通り学年を2つに分けて実施します。日程について、改めてご確認をお願いいたします。
（夏季学校1班：ACDE）7月22日（火）～24日（木）
（夏季学校2班：BFGH）7月24日（木）～26日（土）

【夏期講習申し込みについて】

6月6日～16日の日程で夏期講習の申し込みがあります。申し込みフォームが配信されたら必ず全員が回答しましょう。

★今回のタイトルデザインは
B田中さんが描いてくれたものです！

6月		
1	日	
2	月	
3	火	学年ランチACEG組
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	学年ランチBDFH組
11	水	
12	木	
13	金	私学テスト（国）
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	私学テスト（英）
19	木	
20	金	私学テスト（数）
21	土	短縮授業・オープンキャンパス
22	日	
23	月	参観授業
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	保護者会
29	日	
30	月	

7月		
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	1学期期末考査
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	中学探究日
9	水	生徒登校禁止日
10	木	生徒登校禁止日
11	金	答案返却日
12	土	探究日
13	日	
14	月	探究日
15	火	探究日
16	水	探究日
17	木	探究日
18	金	探究日
19	土	終業式

一校外学習に行きましたー

5月9日（金）、前日の直前まで天候が危ぶまれましたが、当日は初夏を感じるさわやかな気候のなか登山をすることができました。

今回の校外学習の目標は、①未経験のものに対して、自ら積極的にチャレンジする。②フィールドワークに積極的に活動し、夏季学校に向けて経験をつむ。③1つのことを、クラスで協働し成し遂げる。の3つです。「チャレンジ」「経験」「協働」を合言葉のように口ずさみながら、慣れない登山に果敢に挑戦していました。互いにポジティブな声かけをしながら、仲間同士で支え合う様子が見られ、とても頼もしかったです。今回の経験を活かし、夏季学校の登山も前向きに取り組んでくれることでしょう。

保護者のみなさまにおかれましては、登山の準備などご協力ありがとうございました。

ー今回の校外学習で学んだこと・感じたことー

- ・多分一人だったら途中で諦めてしまうかもしれないし、愚痴ばかりになってしまうけれど、友達と登ることで楽しく登れるし、一緒に登ることで目標ができて一生懸命登れるなと感じたから、今後の行事でもお互いに協力することを意識したいと思った。
- ・急な斜面や階段で疲れても、友達と話したり、色々なことに目を向けたりすると疲れをあまり感じませんでした。このことから、友達と協力して楽しめば辛く疲れても結果的には素晴らしい経験として残るということを学びました。
- ・登っている時は正直結構辛くて「いつまであるんだ！？帰りたい…」と思っていたのですが、下り終わり上を見るととても高いところに道があり、「あそこに私はいたんだ」と思うとすごく達成感を得られることを改めて知ることができました。山梨の空気美味しかったです！
- ・周りを俯瞰することの大切さです。中1の時にも目標としてあったけれど、なかなか自分から動くことができませんでした。今回は班長ということもあって、後ろの班員が遅れていないかをよく振り返って守ることができたと思います。またバスの席を決める時も余っている子に声をかけることもできました。今回は全体的に自分の成長につながる校外学習にできたと思います。
- ・つらいことを乗り越えるには友達など同じ目標を持つもの同士で励ましあったり、助け合ったりすることが一番大切だと思いました。また、今回のように目標を意識したからこそ達成できたことに意味があるので、フィールドワークでも学習面でもなんでも目的を明確にすることが重要だと改めて実感しました。
- ・私は、今回初の山登りでかなり大変だと感じました。ですが、クラスでここ滑りやすいから気をつけてなど声かけを行いクラスの仲が少し深まったのではと思います。山登りでは、みんなで声かけを行うことで安全に楽しく行えることが分かりました。
- ・仲がいい子と行動するのは楽しいけれど、新しい子と話すのも楽しいと思ったし、これから教室でその子と話すこともできると思うといいなと思いました。また、みんなは疲れたと言っていました私はポジティブな言葉を発していたからかそれほど疲れなかったし大変だとも思いませんでした。自分の体力の向上も実感できました。次の校外学習や夏季学校がとても楽しみです。

・最初こそあまり疲れなかったのですが、途中から疲れが蓄積してきて諦めそうになったけど自分で己を鼓舞したり周りからの励まし(推しが待ってるよー！チャレンジ、チャレンジ、チャレンジだ！)などで元気が出たので進むことができました。また今回のことで歳をとると山に登りたくなるのは美しい景色を見ただけでなく、「生きている」と感じたいからなのではと思いました。また、つい昨日やった社会の歴史の授業はまだ列車も車もない時代のことだったのでいちいち山を上り下りして行き来するのは本当に大変なことだったのだなと改めて学びました。

